

第105期 株主通信

2019年4月1日 — 2020年3月31日

目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	3
トピックス	5
会社情報／株式情報	6



将来のビジネスを見据え、著しい環境の変化に対応した経営戦略を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第105期(2020年3月期)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響で事業環境が大きく変化しておりますが、従業員の健康と財務健全性を維持しつつ、一丸となってこの難局を乗り越え、将来のさらなる飛躍につなげていきます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

朝倉 研二



Q 当期の振り返りをお聞かせください。

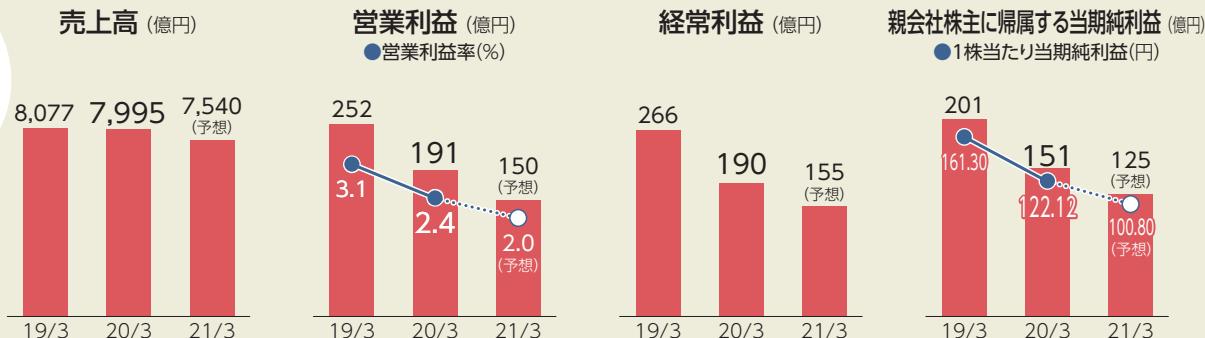
A 景気減速により減収減益となりましたが、成長投資を積極的に実施しました。

2020年3月期、日本経済は、雇用環境の改善は続いていたものの、世界的な景気減速の影響を受け、製造および設備投資は減速しました。世界経済は、米国の堅調な企業業績がけん引していたものの、米中貿易摩擦の長期化等により中国の景気が減速する中、第4四半期には新型コロナウイルス感染症の世界的な

感染拡大により、急速に悪化が進みました。

このような状況の下、売上高は、7,995億5千万円(前期比1.0%減)、営業利益は、191億6千万円(同24.0%減)、経常利益は190億8千万円(同28.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は151億4千万円(同24.8%減)と減収減益となりました。一方、将来の成長への投資は積極的に行い、北米・欧州を中心に食品素材販売、配合品製造および最終製品の受託製造までを手掛けるPrinova社を子会社化しました。景気に左右されにくい食品素材分野を拡大する

業績 レビュー



ことにより、事業ポートフォリオの安定性が強化されました。NAGASEグループの既存事業とのシナジー創出により成長を図っていきます。他にも排水・排気の処理に優れたシステムの開発・施工に強みを持つアイエンス社を関連会社化し、持続可能な社会実現に向けた環境貢献事業を推進するなど、将来へ向けた施策を実施しました。

Q 2021年3月期の見通しはいかがですか？

A 新型コロナウイルス感染症による世界経済の悪化により、残念ながら減収減益を見込んでいます。

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が下半期においては概ね回復する前提のもとで策定しております。コロナ禍においても好調に推移しているPrinova社の業績が通期で寄与するものの、その他のビジネスの落ち込みが大きく、売上高7,540億円(前期比5.7%減)、営業利益150億円(同21.7%減)、経常利益155億円(同18.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益については125億円(同17.5%減)と減収減益となる見通しです。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 大きな変化が予想される社会のニーズを捉え、新たな価値の創出を目指します。

新型コロナウイルス感染症により、世界経済の大幅な悪化が予想されます。このような状況の下、2021年3月期は、中期経営計画「**ACE-2020**」の最終年度となりますが、「**ACE-2020**」で掲げた各施策の遂行を基本としつつ、新型コロナウイルス感染症への対応および感染拡大収束後に予想される顧客・市場・社会の外部環境変化に対応した、新たな提供価値を創出することを重要な課題と認識しています。

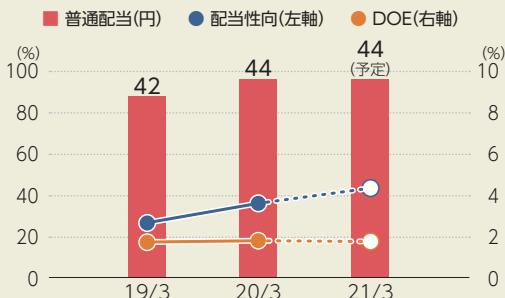
当社では、従前より、IBM社と共同で開発しているマテリアルズ・インフォマティクス^{注1}のプロジェクトを進めており、2021年3月期に、サービス開始を見込んでいます。また、デジタルマーケティングのプラットフォーム^{注2}開発のため、専門性の高い人的資源を確保し、米国(フィラデルフィア)に拠点を開設しました。これらは、ともに将来の新たなビジネスモデル構築に必要とされる技術開発です。今後も継続的に注力し、外部環境の変化に対応した経営戦略を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、中長期の視点でNAGASEをみて頂き、一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

注1) データと人工知能を用いて新規材料や代替材料の探索などを効率よく行う情報科学の手法。

注2) 顧客の閲覧・購入履歴のデータを活用し、人工知能などを用いたデータ解析を行うことによる効率的なマーケティング手法とその仕組み。

1株当たり配当金



セグメント別売上高構成比

売上高 **7,995** 億円
営業利益 **191** 億円



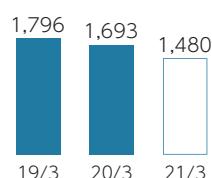
■ 通期 □ 予想

売上高 **1,693** 億円 営業利益 **53** 億円

当期の状況

国内外における自動車生産

台数の減少により、塗料原料およびウレタン原料の売上が減少、また、エレクトロニクスケミカルや、加工油剤原料の売上も減少し減収。

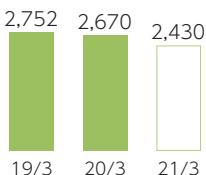


売上高 **2,670** 億円 営業利益 **85** 億円

当期の状況

国内・海外における情報印刷関連材料の売上が増加したものの、OA・ゲーム機器業界向けの合成樹脂が国内、グレートチャイナ、アセアンにおいて売上が減少し減収。

売上高 (億円)

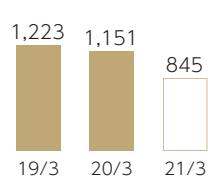


売上高 **1,151** 億円 営業利益 **53** 億円

当期の状況

フトリソ材料関連、変性エポキシ樹脂関連の売上が増加したものの、精密加工関連、装置関連、ディスプレイ関連部材の売上が減少し減収。

売上高 (億円)

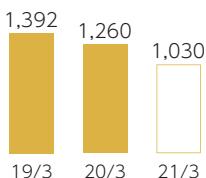


売上高 **1,260** 億円 営業利益 **18** 億円

当期の状況

国内でのカーエレクトロニクス関連部材の売上が微減、また、国内・海外での樹脂ビジネスの売上が減少し減収。

売上高 (億円)

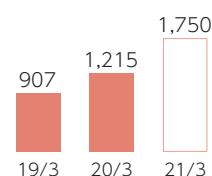


売上高 **1,215** 億円 営業利益 **39** 億円

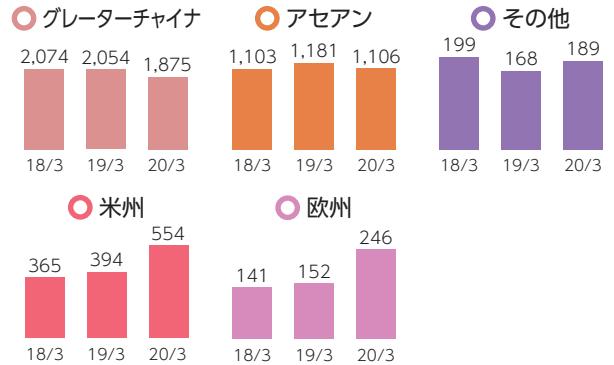
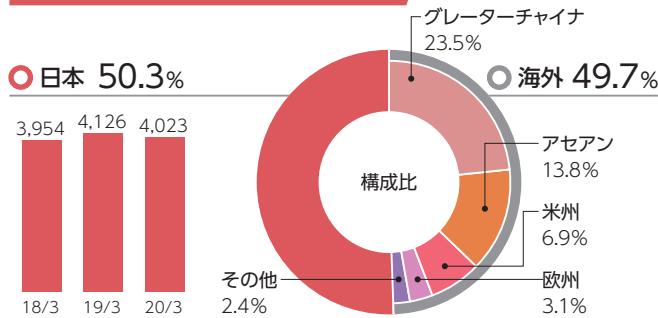
当期の状況

食品素材分野におけるトレハ®や、スキンケア・トイレタリー分野におけるAA2G®の海外売上増加、また、第2四半期に新たに買収したPrinovaグループの売上が加わり、大幅に増収。

売上高 (億円)

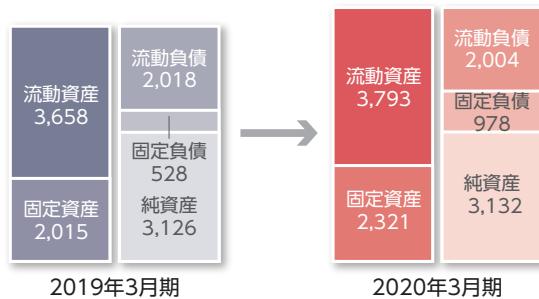


地域別売上高構成比 (億円)

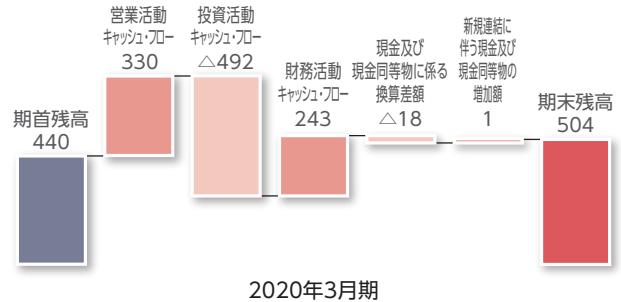


連結財務諸表サマリー (億円)

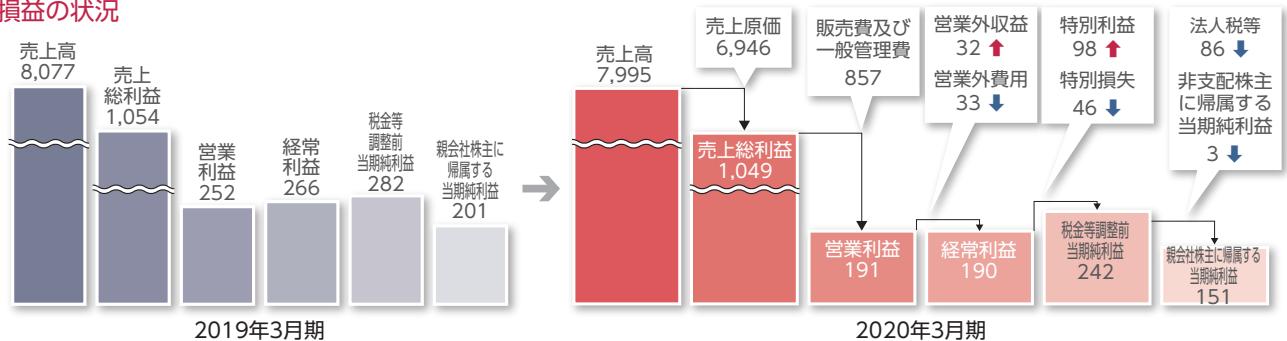
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



TOPICS 1

環境ビジネスの育成・推進

当社は株式会社アイエンス(大阪府大阪市)の株式を取得し関連会社化しました。アイエンスは、排水・排気の処理に優れたシステムの開発・施工に強みを持ち、排水処理システム「アクアブラスター」は、独自技術により微生物の代謝を促し、化学薬品に頼らない排水処理を実現します。また排ガス処理システム「デオライザー」は、先述の「アクアブラスター」を備え、有機溶剤や排煙の処理に優れた効果を発揮し、両製品は既に多数の導入実績を有しています。

世界的に環境規制が強化されるなか、アイエンスのシステムは、環境規制対策と同時にプロセス改善によるコスト低減の両立が期待されます。関連会社化を通じ、顧客の排水・排気の処理プロセスにおける課題を把握し、最適化に繋がる解決策を提供する次世代事業の育成を推進していきます。



排水処理システム
「アクアブラスター」



排ガス処理システム
「デオライザー」

TOPICS 2

米国IFC社を子会社化

当社は、米国子会社のナガセホールディングスアメリカを通して、ウィスコンシン州に本社を置くInterfacial Consultants LLC社(以下「IFC」)を子会社化しました。

IFCは、樹脂等の分野において革新的な要素技術群を有し、アイデアの製品化から量産可能な製造プロセスの開発までを含め、スピーディに新製品を市場に送り出すことを強みとしています。

また、当社の米国子会社Nagase America LLCとIFCとの合併会社では、IFCの特許技術による3Dプリンター向け水溶性サポート材「AquaSys™」を開発、商業化しています。

今後、同社の要素技術群および製品開発力をグループ内に取り込み、当社のネットワーク・顧客基盤と組み合わせ、新事業を創出するとともに、同社製品の市場拡大を目指します。



3Dプリンター向け水溶性サポート材「AquaSys™」
「AquaSys™」は3Dプリンターの繊細な造形を可能にし、さらにサポート材の除去のコスト・時間を大幅に短縮できる点が高い評価を得ています。

TOPICS 3

株主優待制度による寄付について

当社は、2019年度より株主優待カタログの商品の1つとして特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへの寄付を採用しております。ジャパン・プラットフォームは、日本発の国際人道支援として、地域紛争に伴う難民救済や、自然災害により必要とされる緊急援助をグローバルに展開している団体です。

2019年度は191名の株主様にご支援頂き、551,000円の寄付を行いました。寄付金は、初期調査やNGOが初期支援を展開するための資金として活用されます。



台風15号 千葉県での活動



台風19号 福島県での活動

会社概要

商号 長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
 創業 1832年(天保3年)6月18日
 設立 1917年(大正6年)12月9日
 資本金 9,699百万円
 従業員 909名(連結7,207名)
 主要な事業所 大阪本社、東京本社、名古屋支店、
 ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、
 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県
 尼崎市)

取締役・監査役 (2020年6月22日現在)

取締役

代表取締役会長 長瀬 洋
 取締役副会長 長瀬 玲二
 代表取締役社長 朝倉 研二
 代表取締役 若林 市郎
 取締役 池本 眞也
 社外取締役 家守 伸正
 社外取締役 伊地知 隆彦
 社外取締役 野々宮 律子

監査役

社外監査役(常勤) 白藤 信之
 監査役 古川 方理
 監査役 菅野 満
 社外監査役 松井 巖

株式の状況

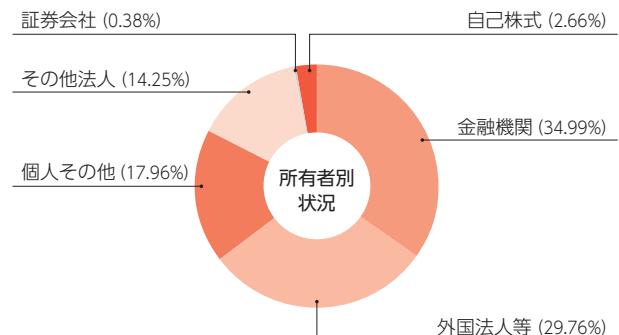
発行済株式の総数 127,408,285株
 株主数 22,306名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,191	6.61
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	5,922	4.78
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,676	4.58
株式会社三井住友銀行	4,377	3.53
日本生命保険相互会社	3,589	2.89
長瀬 令子	3,533	2.85
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,080	2.48
株式会社長瀬舜造	2,688	2.17
長瀬産業自社株投資会	2,643	2.13

※ 持株比率は自己株式(3,396,695株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

(電話照会先)

(照会先URL)

公告方法
電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて
行います。ただし、電子公告によることができ
ない事故その他やむを得ない事由が生じた場
合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

株主に対する特典
100株
毎年3月31日現在の株主名簿に記録された
1単元以上保有の株主を対象に、保有期間
に応じて、カタログギフトを贈呈。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

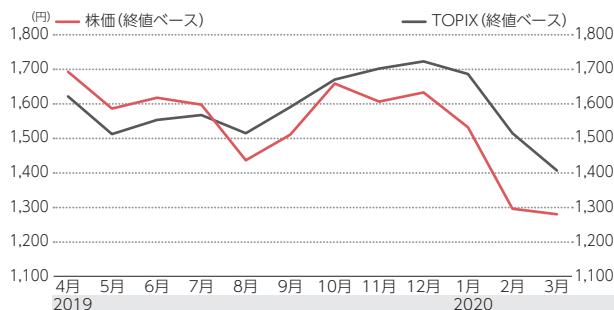
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

● 特別口座について

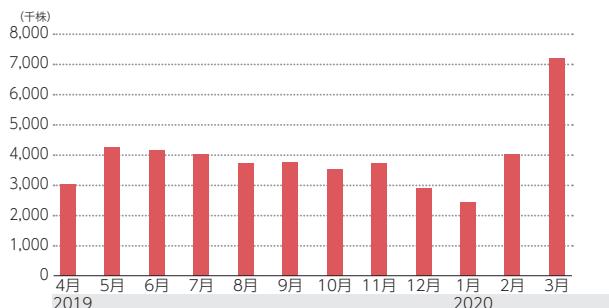
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2019年4月1日～2020年3月31日)

株価の推移



株式売買高の推移



基本理念



NAGASE経営理念
社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン
社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

- NAGASEウェイ**
- 常に顧客指向であれ
 - 常に独創的な挑戦者であれ
 - 常にグループ力の活用を考えよ
 - 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
 - 常にシステムティックに考えスピーディーに行動せよ

本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

